

# ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会について（案）

## 1. 趣旨・検討内容

6月23日にとりまとめられた福島イノベーション・コースト構想では、現在我が国に存在しないロボットテストフィールドの整備をはじめ、ロボット研究・実証のための拠点整備を主要プロジェクトの一つとしている。

このような拠点が整備され、持続的に活用されることとなれば、福島浜通り地方の復興に寄与するのはもちろん、我が国のロボット政策上も大きな意義を有することとは論を待たないが、本構想においては、このような拠点整備に関するニーズ、コストの精査などプロジェクトが持続的に成立していくために必要な検証・検討が必ずしも十分に行われていない。

このため、このような拠点を整備するまでの課題、拠点としての持続可能性等について、様々な視点から検討し、整理を行うべく「ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会」を立ち上げ、以下の内容を検討していくこととする。

## 2. 主な検討内容

- (1)ロボットテストフィールド活用への官民ニーズ・需要見込み調査
- (2)ロボットテストフィールドに係るコスト(整備費用、運営費用)の精査
- (3)考え得る事業実施主体
- (4)実現可能性向上の観点から考え得る政策対応(規制緩和措置、政策支援)
- (5)上記を踏まえ、どのようなテストフィールドであれば実現可能性があるかの精査(例えば、規模が小さく運営費が少なければワークするのか、むしろ大規模で多機能な施設であった方がワークするのか 等)

## 3. スケジュール・進め方

- (1)月1回程度開催。今年度内のとりまとめを目指す。
- (2)関係省庁・研究機関・産業競争力懇談会などからロボットテストフィールドへのニーズ・具体的な活用可能性についてプレゼンし議論。検討会の場での共有を行う。
- (3)企業ニーズについては、併せてアンケート等の実施も検討。
- (4)調査事業にて内外のテストフィールドの研究等も行い、調査結果に基づき議論。